



サイエンス・カフェ

cience Café

サイエンス・カフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

第3回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

日時：2011年 7月22日(金)
18:00～19:30

●場 所

九州工業大学・飯塚キャンパス内
飯塚市川津 680-4

●テーマ

『植物色素を用いた光成型太陽電池』

●ゲスト

ふるかわ しょうじ

古川 昌司 氏

（情報工学研究院
電子情報工学研究系 教授）

●申込み

必要（定員 20 名）

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509（平日10:00～17:00）

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスでは始まり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

ふるかわ しょうじ

古川 昌司 氏

情報工学研究院
電子情報工学研究系
教授

現在、日本の発電の主流は火力発電と原子力発電です。しかし、前者には化石燃料の消費による地球温暖化の問題があります。後者には核廃棄物処理の問題等があります。そこで注目されているのが太陽電池です。ところが、シリコン系太陽電池は、その製造に多くのエネルギーを必要とします。一方、光成型太陽電池（色素増感太陽電池）は非常に安価に製造することが可能です。

我々は、自然界に存在する植物色素を用いた、地球に優しい光成型太陽電池について研究しています。

